

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 水戸市観光審議会
- 2 開催日時 平成30年2月28日（水）午後2時から午後3時40分まで
- 3 開催場所 茨城県三の丸庁舎 3階 会議室A
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 加藤 高藏, 西村 寛, 村田 進洋, 小川 勝夫, 大橋 章,
楢崎 ひろ子, 鹿倉 よし江, 高島 和子, 益子 直之, 山本 和朗,
小川 啓子, 伊王野 求美, 矢島 敬子
 - (2) 執行機関 小田木産業経済部長, 小川産業経済部観光課長, 富岡観光課企画物産係長,
増子観光課主事
- 5 議題及び公開・非公開の別
 - (1) 先導プロジェクトの進捗状況について（公開）
 - (2) 歴史観光まちづくりの推進について（公開）
 - (3) その他（公開）
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴人の数（公開した場合に限る。） 0人
- 8 会議資料の名称
水戸市観光審議会資料, 水戸市観光審議会委員名簿, 水戸市観光審議会条例,
水戸市観光基本計画（第3次）概要版
- 9 発言の内容
別紙 会議録

1 開 会

2 あいさつ

- ・執行機関あいさつ
- ・委員の委嘱及び紹介
- ・会長あいさつ
- ・諮問書の交付

3 議 事

(1) 先導プロジェクトの進捗状況について

執行機関 <観光審議会資料①について内容説明>

委 員 今後、シニア層が観光客として増えてくると思うが、観光漫遊バスは利用しやすく実施されているのか。駅から離れた植物公園や七ツ洞公園に行きたくても、バスの本数も少なく、行きたくても行けないのが現状である。観光漫遊バスを充実させ、植物公園などの施設をもっと利用しやすくしてほしい。

委 員 インバウンド観光について、指標に用いられている水戸市の外国人観光客入込数のカウント方法について教えてほしい。

執行機関 現在、水戸市独自の算出方法が定まっていない状況だが、茨城県の外国人入込客数に水戸市の係数をかけるなど、市の外国人入込客数を出せるように算出方法を検討したい。

委 員 インバウンド観光について、日本文化体験メニューの充実とあるが、実際に行われている内容なのか。

執行機関 市内在住の外国人へのモニターツアーとして実際に行っている内容である。今後、ツアーや日常的に行っていくことを目指すとともに受入側の意識醸成も図っていく。

委 員 日本酒は東南アジアでも人気があるので、酒蔵見学・試飲体験は外国人に喜ばれる。

委 員 弘道館にバスで来る方は多くなってきていると思うが、商店街への波及はあまり感じられていない。

また、梅まつりの時期の路線バスについて、現在は、決まった路線しかないが、弘道館や偕楽園、徳川ミュージアムを回る特別なルート設定があったらお客さんをより呼び込めるのではないかと。

委 員 外国人の体験ツアーに参加すると、酒蔵見学・試飲体験が非常に人気である。また、外国人のお客様からは、偕楽園や弘道館周辺に売店や食事処などがある

と便利だと言われることが多い。

委員 茨城空港の利用者は、中国からのお客さんが年々増えている。水戸市でも茨城空港行バスの増便や通訳機械の導入など外国人の受入体制の整備が必要である。

委員 京都などでは、浴衣を着る体験が人気なので、水戸でも商店街等と連携して行ってほしい。

委員 これからは、シニア層や外国人が観光のターゲットとなると思う。水戸学の道をシニア層の方に歩いてもらうことを考えると、食べ物を買える場所や日陰となる場所の整備が必要である。また、実際にボンネットバスに乗ってみた事があるが、クッションがきつく、乗り心地が悪いと感じた。ひとつひとつのアイテムを利用者目線で精査して、きちんと課題を解決してほしい。

その他にも、八卦堂や孔子廟のブラッシュアップ、歴史的な空間にあった仕掛けとして人力車の活用も検討してほしい。

委員 人力車は水戸学の道を走れるのか。また、弘道館周辺にお休み処はできるのか。

執行機関 人力車が水戸学の道を走らせることは道路管理者との協議などの様々な調整が必要だが、不可能ではないと考えている。実施主体や待合場所などを整理できれば可能である。

弘道館周辺については、弘道館東側用地の買収を進めており、基本計画を策定し、広場・トイレ、駐車場の整備を進めていく。

委員 私の体験として、外国に行くとともに不安になる。そんな時、携帯電話をとっても重宝した思い出があるので、水戸でもWi-Fiがどこにいても自由に使えるよう整備を進めてほしい。

また、千波公園、偕楽園公園を活用してほしい。特に、レイクサイドボウル跡の土地を道の駅や観光バスの駐車場等として活用してほしい。

先ほど、人力車についての話があったが、水戸駅から国道50号、偕楽園を走らせようとしたことがあったが、関係機関との調整ができず、話が頓挫してしまったことがある。

(2) 歴史観光まちづくりの推進について

執行機関 <観光審議会資料②について内容説明>

委員 マナーの悪い外国人観光客には来てもらいたくない。水戸の売りである歴史や文化を知りたいと考えている方に来てもらいたい。自分だったらどういう観光地に行きたいかを考えて、水戸らしいまち歩き、水戸らしさを追及して、マナーのいい方に来てもらえるようにしていくべきである。

他にも、おもてなしマイスターがまだまだ活用がなされていないと感じるので、おもてなしマイスターの詰め所を作って、おもてなしできる機会をもっと増やすべきである。

また、観光客が年に何度も水戸市を訪れて、市内を回遊してもらえるように酒蔵や花などのテーマを見つけて、ツアーや回遊コースを提案するとよい。

委員 千波湖周辺の整備や観光地間の回遊性を向上させることが大事である。

委員 他の市の観光案内ボランティアには、歌を歌って楽しませる方もいて、記憶に残っている。水戸市でもどんどん機会を作って、おもてなし力の向上を図っていくべきである。

また、昨年の入込客数が伸びた要因として、テレビでの宣伝効果が大きかったと思うので、今後もテレビでの宣伝・広告を活用していくとともに、観光客がまちを歩く際に、どこに何があるかを判断する案内板を整備してほしい。

委員 水戸学の道について、添付されている図面には、二の丸展示館の活用や東武館での体験等の記載がされていないが、そういった計画はないのか。

執行機関 水戸学の道、弘道館・水戸城周辺地区については、現在、回遊できるルートを検討しており、ルート化したマップの作成を進めている。二の丸展示館、東武館についても取り入れることを検討している。

(3) その他

会長 本日の意見をまとめ、答申を行う。内容は会長、副会長に一任いただく。

4 閉会